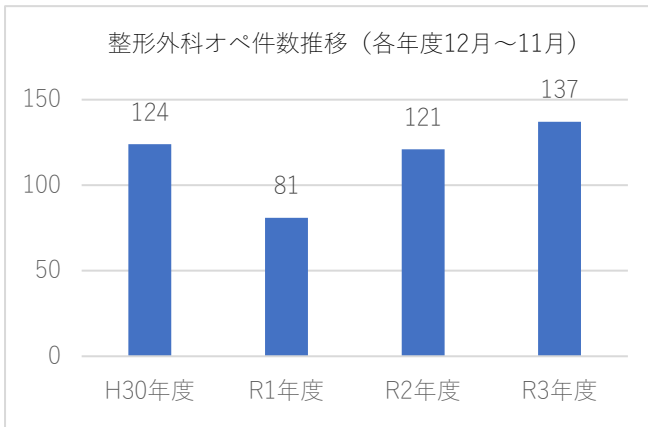




# 整形外科のご案内

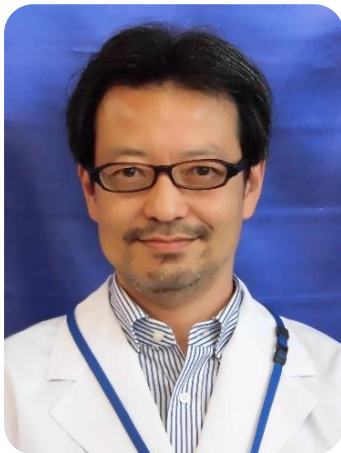


令和3年より2名の医師を増員し3人体制になり、整形外科手術は大きく増加いたしました。膝関節、脊椎脊髄の専門治療をはじめ様々な症例経験を活かし地域に貢献してまいります。  
 今後ともご支援の程よろしくお願いたします。

## 整形外科手術実績 (令和3年4月～令和4年3月)

手術種別	合計
人工関節置換術(股)	1
人工関節置換術(膝・TKA)	11
人工関節置換術(膝・UKA)	13
人工骨頭挿入術(股)	29
脊椎椎弓形成術(頸椎)	5
関節鏡下半月板切除術	7
骨切り術(下腿)	1
関節内骨折観血的手術(上肢)	11
関節内骨折観血的手術(下肢)	12
骨折観血的手術(上肢)	13
骨折観血的手術(下肢)	40
骨内異物(挿入物)除去術	15
その他	24

## 医師紹介



**青盛 克裕 部長**

京都府立医科大学 1991年卒

専門：膝関節、関節リウマチ、外傷

〔職歴〕

済生会滋賀県病院 整形外科

国立八日市病院 整形外科

京都第二赤十字病院 整形外科

亀岡市立病院 整形外科 医長

堀川病院 整形外科 部長

〔所属学会〕

日本整形外科学会 専門医

日本整形外科学会認定スポーツ医・脊椎脊髄病医・リウマチ医

日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医

日本リハビリテーション学会 認定臨床医

日本リウマチ学会 専門医

2017年7月から琵琶湖大橋病院整形外科に勤務しております。着任から約4年の間、出来るだけ断らないをモットーに常勤医1人で膝関節の専門外来と一般整形外科の外来および手術を行なってきました。高齢化に伴い変形性膝関節症の患者さんは増加しており、基本的には保存療法を考えますが、保存療法に抵抗する患者さんには、全人工膝関節置換術(TKA)、単型人工関節置換術(UKA)、高位脛骨骨切術(HTO)など患者さんに合った治療法をしっかりと相談の上、選択しております。またリウマチ専門医として生物学的製剤などによる薬物療法なども行っておりますので、難治症例については是非ご相談ください。

最近では大腿骨近位部骨折の早期手術の重要性が認識されるようになってきていますが、当院では以前から人工骨頭や骨接合材料を常備し、緊急手術にも対応しております。常勤医3人体制となり、京都府立医科大学整形外科の関連病院にもなり、より多くの患者さんに対応可能な体制作りを行っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



八田 陽一郎 副部長

京都府立医科大学 1995 年卒

専門：脊椎脊髄、リハビリテーション

〔職歴〕

社会保険神戸中央病院 整形外科

松下記念病院 整形外科

京都第二赤十字病院 整形外科 副部長

京都第二赤十字病院 リハビリテーション科部長

〔所属学会〕

日本外科学会 認定医

日本整形外科学会 脊椎脊髄病医

日本脊椎脊髄病学会 脊椎脊髄外科 指導医

脊椎脊髄外科 専門医

日本低侵襲脊椎外科学会 幹事

日本リハビリテーション医学会 認定臨床医・専門医

The Best Doctors in Japan 2020-2021

令和3年11月1日に着任いたしました八田陽一郎です。歴史ある堅田の町で勤務させていただけることを大変うれしく思っています。私は20余年脊椎外科医療にかかわってまいりましたが、高齢化社会を迎えて脊椎外科診療も大きく変わってきたことを感じております。長寿化に伴い健康寿命を延長させるニーズが大きくなっていることから、頸椎から腰椎まで脊椎全体の神経学的評価や形態学的評価に加え、骨粗しょう症など骨質の評価までしっかり行っただけで対応することが必要になりました。私は診察を行った患者様に対し、脊椎疾患だけでなく他の疾患も含めて総合評価を行い、将来発生しうる患者様やご家族にとって好ましくない事象やその対応方法について説明や相談を行います。治療についてはリスクの少ないものから順に提案し、手術については私自身が考案した顕微鏡手術を中心に、合併症が少なく安全性の高い低侵襲手術を十分相談した上で行います。私はリハビリテーション専門医でもありますので、手術の有無にかかわらずリハビリテーション医学的見地からの診療も合わせて行います。地域の皆様の健康的な生活維持に少しでもお役に立てますよう努力いたしますので、何卒よろしくお願い致します。



川南 芙美 医員

奈良県立医科大学医学部医学科 2009 年卒

専門：一般整形

〔職歴〕

奈良県立医科大学付属病院

医真会 八尾総合病院

東大寺福祉療養病院

西奈良中央病院

〔所属学会〕

日本整形外科学会 専門医

令和3年5月より縁があって琵琶湖大橋病院でお世話になることになりました。以前は奈良県の病院で整形外科医としてたくさんの患者様と出会い、外傷を中心とした手術症例を経験してきました。

社会全体の高齢化が進み、転倒による骨折が年々増えております。その手術加療はもちろんのこと、転倒しない強い体づくり、万が一転倒しても骨折しない強い骨づくりのお手伝いもさせていただきます。

女性の整形外科医は珍しいかと思いますが、一般男性より体力に自信があります。不惑を過ぎましたが、まだまだやる気は十分にあると思っております。

湖西地域は初心者で、土地勘がなくご迷惑をおかけするかと思いますが、地域の皆様の笑顔のために微力ながら一生懸命診療にあたらせていただきます。よろしくごお願い申し上げます。